

奥村雄樹 Yuki Okumura

1978 青森県生まれ。マーストリヒト、ブリュッセルを拠点に制作活動を行う。

1997 - 2002 多摩美術大学絵画科油画専攻

2000 - 2001 クイーンズランド・カレッジ・オブ・アート 、ブリスベン

2002 - 2004 東京藝術大学大学院修士課程油画専攻

2009 - 2012 東京藝術大学大学院修士後期課程

個展

2000

「Pieces」QCA ギャラリー、ブリスベン

「Pubic Ping Pong Project」Soapbox Gallery、ブリスベン

2005

「トランスファー」HIROMI YOSHII Five,東京

「ピー・ヒア・ナウ」栃木県立美術館集会室、宇都宮、栃木

2006

「Can't Get You Out Of My Head」、チェルスモア アネックス #18、ニューヨーク

「ループホール」Studio J、大阪

「Transfer」PARK4DTV、アムステルダム（ウェブサイト）

2007

「ポップ」Gallery Soap、北九州

「Half the World Away」プロセス・ルーム、アイルランド現代美術館、ダブリン

2008

「アイミーマイン」MISAKO & ROSEN、東京

2010

「奥村雄樹とこどもたち：くうそうかいぼうがく（青森編）」国際芸術センター青森 ギャラリーB、青森

「くうそうかいぼうがく・落語編」Misako & Rosen、東京

「Fantastinen matka | Fantastic voyage」Gallery Augusta、スオメンリンナ、ヘルシンキ

2011

「煙突を潜望鏡に変える」project room sasao、秋田

「ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー」アートスペース 1、東京芸術大学、東京

2012

「Synchronized Sneezing - Basel」dock、バーゼル

「Anatomie-Fiktion」バーゼル解剖学博物館、バーゼル

「小林禮子 通訳者のメモ」東京都現代美術館 1F ホワイエ、東京

「APMOA Project Aichi vol.4: 善兵衛の目玉（宇宙編）」愛知県美術館、愛知

2013

「Jun Yang: A Short Lecture on Forgetting and Remembering」Vita Kuben、Norrlandsoperan、ウメオ

「Across Our Horizons」HEDAH、マーストリヒト

2015

「ローマン・オンダックをはかる」MISAKO & ROSEN、東京

2016

「な、」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、京都

「奥村雄樹による高橋尚愛」銀座メゾンエルメスフォーラム、東京

2017

「奥村雄樹」MISAKO & ROSEN、東京

「帰ってきたゴードン・マッタ＝クラーク」statements、東京

2018

「NA(me/am)」コンヴェント、гент

2019

「29,771 days – 2,094,943 steps」ラ・メゾン・デ・ランデブー、ブリュッセル／ART-O-RAMA、マルセイユ

「な³」、ジョイントッドツリーギャラリー、東京

「彼方の男、儚い資料体」慶應義塾大学アート・センター、東京

2021

「生きる寄す処としての地すべり ならびに／あるいは 死ぬほど素っ気ない面構えの舌ども」MISAKO & ROSEN、東京

2022

「Yuki Okumura」Saint-Martin Bookshop、ブリュッセル（On Kawara 展の一部として）

2024

「我を忘れる身構えの手解きの跡形（我々は数多の知る由もない先行きの面影に湧き立つ）」gallery α M、東京

2025

「Yuki Okumura」セセッション、ウィーン

「Big White Playground」セセッション、ウィーン（個展）

グループ展

1999

「Rainbow」東京造形大学彫刻棟スタジオ、東京

2000

「フィリップ・モリス・アート・アワード 2000 最終審査展」恵比寿ガーデンホール、東京
「模型洗濯機」多摩美術大学絵画棟エントランス・ホール、東京

2001

「The First Steps: Emerging Artists from Japan」グレイ・アート・ギャラリー、ニューヨーク

2002

「身体をデザインする - 不透明なインターフェイス」複眼ギャラリー、大阪
「エモーショナル・サイト」佐賀町食糧ビルディング、東京

2003

「PresentA '03 - あなたは、何処」東京藝術大学陳列館、東京
「群馬青年ビエンナーレ '03」群馬県立近代美術館、群馬
「Tokyo-Munchen」ミュンヘン国立芸術アカデミー、ミュンヘン

2004

「タイム・オブ・マイ・ライフ 永遠の少年たち」東京オペラシティアートギャラリー、東京
「エピソード: 2nd アジア・アート・ナウ」清州アートセンターギャラリー、清州

2005

「ザ・ワールド・イズ・マイン」Hiromi Yoshii Five、東京

2006

「Everyday Life is a Microcosm」コーネル大学美術科実験スタジオ、イタカ、ニューヨーク
「Peekskill Project 2006」ピークスキル・コーヒー・ショップ、ニューヨーク
「IRP Exhibition Summer 2006」ローケション・ワン、ニューヨーク
「Trans-boundary Experiences」SPOOL Mfg、ニューヨーク
「Theory of Everything」タンク TV、ロンドン（ウェブサイト）

2007

「Loop」台北國際藝術村、台北
「everyday ウィル・ローガン/奥村雄樹」MISAKO & ROSEN、東京
「Peach flower、Apricot flower」Sungsan Art Hall」、昌原、韓国
「奥村雄樹／王雅慧：On and On and On」ラボラトリエ・ヴィレージ・ノマド、ラコルビエール、スイス

2008

「第6回 シティー・オン・ザ・ムーブ アート・フェスティバル 2008-Dark Urbanism+Eye of the City」台北現代美術館
「釜山ビエンナーレ 2008 Expenditure (Sea Art Festival)」韓国
「ニュートーキョーコンテンポラリーズ エンド・オブ・ザ・トンネル」新丸の内ビルディング 7F、丸の内ハウス、東京

2009

「ゲバゲバ・サマーショー ゲバゲバな4週間」MISAKO & ROSEN、東京
「Japan Video Window」デュプレックス・ギャラリー、サラエボ
「Re: Membering - The Next of Japan」ループ、ソウル
「奥村雄樹／江忠倫：Secret Life」Galerie Grand Siecle、Taipei、台北
「Inside Outline 奥村雄樹+富井大裕」KABEGIWA、東京
「Now that I'm by myself 「、she says、「I'm not by myself、which is good」ダイヴァースワークス、ヒューストン
「Stripe、Dots and Skulls In Assorted Shapes、Colors and Sizes、ソカ・アート・センター、台南
「この世界とのつながりかた」ボーダレス・アートミュージアム NO-MA、滋賀
「非日常：隠力場」鳳甲美術館、台北ーアートミュージアム NO-MA +尾賀商店、滋賀
「ラブラブショー」青森県立美術館、青森

2010

「時の流れと絆：日本の芸術家とアメリカ」アメリカ大使公邸、東京
「ロボットと美術：身体 x 機械のビジュアルイメージ」青森県立美術館、青森
【巡回：静岡県立美術館、静岡、島根県立石見美術館、島根】
「あさがお展」旧坂本小学校、東京
「for against disaster」ムーブ町屋ミニギャラリー、東京

2011

「Super 8」Christpher Grimes Gallery、サンタモニカ
「It is not an art center」アートセンターの可能性、HAPPA、東京
「癡行者 - 宮津大輔：位工薪族的收藏展」台北當代藝術館、台北
「東京藝術大学大学院美術研究科博士審査展」アートスペース 1、東京藝術大学、東京

2012

「冬の旅」シェーン・キャンベルギャラリー、シカゴ
「VOCA 展 2012 新しい平面の作家たち」上野の森美術館、東京
「メメント調布」トコン・ダラーム・パザール、東京
「Iram Ghufuran / Miatta Kawinzi / Sylvie Laplante / Yuki Okumura」Basement、バーゼル、スイス
「HIRATA ARAKAWA OKUMURA TANAKA」ラスター、ワルシャワ、ポーランド
「MOT アニュアル 2012 風が吹けば桶屋が儲かる」東京都現代美術館、東京
「代官山アートストリート」ヒルサイド・フォーラム、東京
「The Swiss Experience」Forum Schloss Platz、アールウ
「Dance on a Thin Line」大邸芸術発展所、大邸(The Daegu Photo Biennale 2012)
「RECALL #1/re-curate: Making Homelesses、Editing Sequences 天災は忘れた頃にやってくる」東京都現代美術館、東京
「PARADE: Invisibles in Japanese Media Arts from 「Night Parade of one hundred Demons 「to 「 IS Parade 「」 Artis Tree、香港

2013

「遭難展」シャトー2F、東京
「Vom Japonismus zu Zen - Paul Klee und der Ferne Osten」パウル・クレーセンター、ベルン

「Transmissions」 エアプレイン、ブルックリン
「私をとりまく世界」 トーキョーワンダーサイト渋谷、東京
「MONIKA Stricker」 CAB、ブリュッセル
「反重力 浮遊 | 時空旅行 | パラレル・ワールド」 豊田市美術館、愛知
「六本木クロッシング 2013 展：アウト・オブ・ダウト –来るべき風景のために」 森美術館、東京

2014

「Translation Theme Park」 Galleri 21、マルメ

2015

「Villa Toronto」 ユニオン駅、トロント
「VOCA 展 2015 新しい平面の作家たち」 上野の森美術館、東京
「RECALL #2/re-curate: VOCALIZE 声を出す・声に出す」 上野の森美術館、東京
「アパートメント調布」 トコン・ダラーム・バサール・ウタラ、東京
「Un-Scene III」 ヴィールズコンテンポラリーアートセンター、ブリュッセル

2016

「調布会展 2016」 ギャラリーみるめ、東京
「all-space-escape」 オンライン
「クールインヴィテーションズ 3」 XYZ Collective、東京
「根も葉もない」 南門町 323、台北

2017

「Wrapped/Unwrapped」 Zoo Galerie、ナント
「Oomingmak」 キャピタル、サンフランシスコ
「Constellations」 Exhibition Laboratory、ヘルシンキ芸術アカデミー、ヘルシンキ

2018

「世界に対する知と信」 駒込倉庫、東京
「Re: Romantic Conceptualism:When you were here before、Couldn't look you on the eye」 ニュー・サウス・グリーンランド・ピエンナーレ
「ベアトリス・パルク x 奥村雄樹：心中熊楠城」 ヴィラ九条山、京都
「Harsh Astral. The Radiants II」 Halle Fur Kunst Luneburg 、リュネブルク
「State of Statelessness」 L'iselp、ブリュッセル
「rampe No.I」 rampe、ベルリン
「HARSH ASTRAL: The Radiants 2」 Francesca Pia、チューリッヒ
「Viva Villa」 Villa Mediterranee、マルセイユ

2019

「Tre metri per quattro (1673996652 pi)」 ヴェニス各地
「Ja, Nine」 Booth 24、Art Rotterdam 2019、ロッテルダム
「びじゅつじょろん」 藤枝市民会館、静岡
「みる」 アートカゲヤマ、静岡
「Jun Yang: The Artist, the Work and the Exhibition」 Kunsthaus Graz、グラーツ
「Hisachika Takahashi and Yuki Okumura」 June、バーゼル
「その先へ - beyond the reasons」 駒込倉庫、東京
「Food Show 3」 3A Gallery、ニューヨーク
「ただいま／はじめまして」 東京都現代美術館、東京
「Un Bon Début」 Galerie artsauccarre、モンス

2020

「DOMANI・明日展 plus online 2020」 オンライン（主催：文化庁）
「2020 003278079060」 留守番電話システム、ベルギー
「Inventory、Darren Bader によるプロジェクト」 オンライン
「The Drawing Lesson」 Museu Moli Paperer de Capellades、カペリャデス
「楊俊 藝術家、合作者、他們的展覽與三個場域」 國立臺北藝術大學關渡美術館、台北

2021

「11 Stories on Distanced Relationships: Contemporary Art From Japan」 オンライン、国際交流基金
「July, August, September」 Apenstrasse Nr. 13、ケルン
「Jahresgaben 2021」 Bonner Kunstverein、ボン

2022

「Platform for Shared Praxis」 Caves、メルボルン
「蓄積」 青山 | 目黒、東京
「Etablissement d'en face presents a sales show」 June Art Fair、バーゼル
国際芸術祭「あいち 2022」、愛知芸術文化センター、愛知
「Janelas」 ジャン・ラウデ図書館、サン・テティエンヌ・メトロポール近現代美術館
「Big Sales Show」 Etablissement d'en face、ブリュッセル
「Last Terminal: Reflections on The Coming Apocalypse, Part 6: The Siphon」 Rib、ロッテルダム

2023

「きつと雪は天にも地にも」 グローバル・ゼミ・スタジオ（U21）、京都芸術大学、京都
「November」 港区東麻布 2-12-4 信栄ビル 1F、東京（N.E. One &c.のメンバーとして参加）
「Janelas」 BPS22、シャルロワ
「雲とつま先」 KNULP、シドニー
「Last Terminal: Reflections on The Coming Apocalypse, Volume II, Part 1: The Tail's End」 Rib、ロッテルダム

2024

「u- New project Spaces」 Kunsthalle Zurich Backrooms、チューリッヒ

「An Account of The Luck and Misfortunes of _」 Etablissement d'en face、ブリュッセル
「我々は数多の知る由もない先行きの面影に湧き立つ」 gallery α M、東京
「Lunar Practices」 Bananafish、上海
「surrealists everywhere!」 rooftop gallery、パドヴァ
「Yes Second Chance」 アントワープ王立芸術アカデミー
2025
「Unguided Tour」 アントワープ王立芸術アカデミー

主なスクリーニング

2006

「Theory Of Everything」(自主企画) ワークステーション・アーツ・センター、北京(ロケーション・ワン、ニューヨーク; アインシュタイン・オーディトリウム、ニューヨーク大学; アジアン・カルチュラル・カウンシル、ニューヨークに巡回)
「Indblik」 ハーニング美術館、ハーニング、デンマーク
「Sonar」 パルセロナ現代文化センター、パルセロナ
「Cinema Scope」 Scope Hamptons 2006、East Hamptons Studio、ニューヨーク
「Nomad Theatre vol. 1: Another World」 アップリンクファクトリー、東京

2007

「MAM SCREEN」 六本木ヒルズ、東京
「Indblik」 ヘニエ・オンスタッド美術館、ホーヴィコドン、ノルウェー(予定)
「Transmutations」 カレー装飾美術館、カレー、フランス(予定)
「Compedium」 LUX、ロンドン(イスタンブール・ショート・フィルム・フェスティバル、イスタンブール/H-I-T、スウェーデンに巡回)
「Rencontres Internationales 2007」 Cinema l'Entrepot、パリ
「東方: The Cinema of the Far East」 サンテルモ城、ナポリ

2008

「Rencontres Internationales 2008: Communities」 国立ソフィア王妃芸術センター、マドリード
「Theory Of Everything (shortened version)」 コンテンポラリー・アート・スクリーン・ズイダス、アムステルダム【2011年 Scarritt Bennett Center、ナッシュヴィルへ巡回上映】
「IASmedia Screening 2008」 インサ・アート・スペース、ソウル

2010

「Many people ask me, 「Don't you miss Japan when you live abroad?」、LIA -Leipzig International Programme、ライブツィヒ
「Shop If You Can, Look If You Want - Art Trail (St. Patrick's Festival 2010)」、ミーティング・ハウス・スクエア、ダブリン
「ニュートキーココンテンツポラリーズ」 日経 SPACE NIO
「Videozoom Japan: Re-framing the Everyday」 ローマ現代美術館、ローマ【2011年ピノ・パスカリ美術館へ巡回上映】
「NADA Artist Ball」 ビックスクリンプロジェクト、ニューヨーク

2011

「Many people ask me, 「Don't you miss Japan when you live abroad?」 ゲッティゲン・クンストフェライン、ゲッティンゲン(山下麻衣+小林直人の展示の一部として)
「G-tokyo X ニュートキーココンテンツポラリーズ サロン 2011」 六本木ヒルズカフェ、東京

2012

「六本木アートナイト: スクリーニング企画 アナザーワールド」 森美術館他、東京
「スーパー8.」 Christopher Grimes Gallery, サンタモニカ
「Better life for Artist」 FIGURE 17 - 15 CAS、東京(Artist Guild 企画)
「砂入博史と奥村雄樹」 ニューヨーク大学、ニューヨーク
「Great Poor Farm Experiment IV video program」 Poor Farm、ウィスコンシン
「ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー」、gsgp 女子美アートセンター準備室、神奈川【2012年愛知県立芸術大学、愛知へ巡回上映】

2013

「VISIONS 2013 - 映像のざわめき アートかしわ 2013」(アーティストギルド枠)、アミュゼ柏、千葉

2015

「Bitte nicht weeken: 91/2 uur omtrent het laatste werk」 LLS 387、アントワープ

2017

「帰ってきたゴードン・マッタ=クラーク/Welcome back Gordon Matta-Clark」 ステートメント、東京

2018

「帰ってきたゴードン・マッタ=クラーク/Welcome back Gordon Matta-Clark」 全部・穴・会館 <ホール>、仙台
「無題」 東京国立近代美術館 眺めのよい部屋、東京
「For no one knows himself, if he is only himself」 Khartoum Contemporary Art Center、オスロ
「ゴードンの送り火」 @KCUA、京都(田村友一郎「叫び声」展関連企画)

2019

「Projections」 Art Rotterdam 2019、ロッテルダム
「奥村雄樹《彼方の男》試写会」 umagusuku、京都
「Hisachika Takahashi and Yuki Okumura」 June、バーゼル
「Yuki Okumura: Double Acts」 Bozar Studio、ブリュッセル
「One Day screening / twilight: Kenji Ide, Yuki Okumura, Noriko Kawana」 TANA Studio、東京

2020

「Work Life Balance: Michael Bodenmann und Barbara Signer」 Nextex、ザンクト・ガレン

2022

「彼方の男」 アートスペース A、愛知芸術文化センター、愛知(愛知県美術館「ミニマル/コンセプチュアル ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術」展の一環として)

「Bon retour, Gordon Matta-Clark」 Collection Lambert, アヴィニヨン (SensoProjekt のプログラム)

2024

「Festival Filmer l'Art et l'Architecture」 Atomic Cinema、オーピニー＝シュル＝ネール

受賞暦

2000

フィリップ・モリス・アート・アワード 2000、グランプリ受賞

2006

アジア・カルチュラル・カウンシル 日米芸術交流プログラム 個人フェローシップ

パブリックコレクション

東京都現代美術館

愛知県立美術館

森美術館

アントワープ現代美術館